

関係各位

四日市港管理組合企画課

## 四日市港統計年報の数値の訂正について

令和6年3月29日付で皆様にお送りしました「四日市港統計年報2022年(令和4年)」に掲載している数値のうち、入港隻数(隻)、移出入貨物量(トン)、移出入コンテナ取扱個数について誤りがございましたので、お詫びして訂正いたします。

## 1 訂正概要

2022年に取り扱った内貿コンテナ貨物のデータのうち、計上されていなかった船舶があったことから、他の船舶を含めて再点検したところ、入港隻数(隻)が増加し、それに伴い貨物量が増加しました。また、点検中に一部のデータで移出入の誤りを確認できたものがあったことから、あわせて修正しています。

## 2 主要な訂正内容

「四日市港統計年報2022年(令和4年)1月～12月」のうち、以下のとおりです

		正	誤	単位
入港船舶	隻数	16,716	16,714	隻
	総トン数	59,825,792	59,825,046	総トン
総取扱貨物量	総取扱貨物量	55,461,813	55,462,027	トン
	うち内貿分	20,145,860	20,146,074	トン
	移出	14,912,407	14,912,632	トン
	移入	5,233,453	5,233,442	トン
コンテナ取扱個数	総数	221,689	221,558	TEU
	うち内貿分	48,652	48,521	TEU
	移出	12,441	12,308	TEU
	実入り	192	190	TEU
	空	12,249	12,118	TEU
	移入	36,211	36,213	TEU
	実入り	9,673	9,672	TEU
	空	26,538	26,541	TEU

【添付】四日市港統計年報 2022年(令和4年)1月～12月 P.1～P.6

## 2022年（令和4年）四日市港の港勢（訂正後）

2022年（1月～12月）の四日市港の港勢としては、入港船舶は増加したが、海上出入貨物、外貿コンテナ個数はいずれも前年に比べて減少した。

- ・入港船舶は、前年に比べて、隻数、総トン数ともに増加した。
- ・海上出入貨物は、前年に比べて、外貿、内貿ともに減少した。
- ・外貿コンテナ個数は、前年に比べて、輸出、輸入ともに減少した。

### 1. 入港船舶

入港船舶は、隻数が 16,716 隻（対前年比 100.7% ※以下、「同〇〇.〇%と表記する」）、総トン数は 5,983 万総トン（同 100.4%）で、前年に比べて隻数、トン数ともに増加した。

外航船は、1,465 隻（同 95.2%）、4,415 万総トン（同 99.1%）で、隻数、総トン数ともに減少した。

内航船は、15,251 隻（同 101.2%）、1,568 万総トン（同 104.2%）で、隻数、総トン数ともに増加した。

また、外航コンテナ船は 637 隻（同 96.8%）、1,459 万総トン（同 100.9%）で、隻数は減少し、総トン数は増加した。

表1 入港船舶前年対比表

（単位：隻・総トン・%）

		2022年 年 計	2021年 年 計	対前年比	過去最高記録	過去最高年
総 計	隻 数	16,716	16,608	100.7	44,645	1976年(昭和51年)
	総トン数	59,825,792	59,577,365	100.4	64,013,359	2016年(平成28年)
外航船	隻 数	1,465	1,539	95.2	1,998	2015年(平成27年)
	総トン数	44,147,560	44,526,275	99.1	49,846,779	2016年(平成28年)
うち コンテナ船	隻 数	637	658	96.8	883	2014年(平成26年)
	総トン数	14,585,501	14,460,930	100.9	19,281,050	2016年(平成28年)
内航船	隻 数	15,251	15,069	101.2	43,567	1976年(昭和51年)
	総トン数	15,678,232	15,051,090	104.2	15,678,232	2022年(令和4年)

## 2. 海上出入貨物

海上出入貨物は、外貿、内貿あわせて5,546万トン（同94.6%）と前年を下回った。

外貿貨物は3,532万トン（同92.1%）、内貿貨物は2,015万トン（同99.4%）と前年を下回った。

表2 海上出入貨物前年対比表

（単位：トン・%）

		2022年 年 計	2021年 年 計	対前年比	構成比	過去最高記録	過去最高年
総 計		55,461,813	58,641,782	94.6	100.0	64,916,882	2007年（平成19年）
外 貿	計	35,315,953	38,365,989	92.1	63.7	43,527,956	2007年（平成19年）
	輸 出	3,920,721	3,603,265	108.8	7.1	5,036,147	2010年（平成22年）
	輸 入	31,395,232	34,762,724	90.3	56.6	39,389,731	2012年（平成24年）
うち コンテナ 貨物	計	3,260,781	3,331,757	97.9	5.9	3,814,070	2018年（平成30年）
	輸 出	1,792,567	1,767,713	101.4	3.2	2,125,591	2013年（平成25年）
	輸 入	1,468,214	1,564,044	93.9	2.6	1,863,404	2018年（平成30年）
内 貿	計	20,145,860	20,275,793	99.4	36.3	24,292,127	2002年（平成14年）
	移 出	14,912,407	15,142,438	98.5	26.9	19,155,416	2002年（平成14年）
	移 入	5,233,453	5,133,355	101.9	9.4	6,076,141	2017年（平成29年）

### (1) 輸出貨物

輸出貨物は392万トン（同108.8%）と前年を上回った。

品種別では、上位主要品種のうち、自動車部品（同115.9%）、揮発油（同110.0%）、その他の石油（同225.3%）、完成自動車（同114.4%）は前年を上回ったが、化学薬品（同87.9%）は前年を下回った。

国別では、韓国（同101.6%）、中国（同119.1%）、インドネシア（同124.0%）、ベルギー（同108.4%）は前年を上回ったが、台湾（同75.6%）は前年を下回った。

### (2) 輸入貨物

輸入貨物は、3,140万トン（同90.3%）と前年を下回った。

品種別では、上位主要品種のうち、LPG（同106.4%）は前年を上回ったが、原油（同94.5%）、LNG（同89.0%）、石炭（同75.4%）、揮発油（同70.4%）、は前年を下回った。

国別では、オーストラリア（同108.8%）、マレーシア（同100.2%）、ロシア（同137.1%）は前年を上回ったが、アラブ首長国（同98.0%）、サウジアラビア（同75.1%）、は前年を下回った。

表3 外貿貨物品種・国別表

(単位：トン・%)

輸出品種	貨物量	対前年比	構成比	輸入品種	貨物量	対前年比	構成比
総計	3,920,721	108.8	100.0	総計	31,395,232	90.3	100.0
1 (1) 化学薬品	1,047,906	87.9	26.7	1 (1) 原油	14,354,780	94.5	45.7
2 (2) 自動車部品	643,668	115.9	16.4	2 (2) LNG	9,844,115	89.0	31.4
3 (3) 揮発油	530,238	110.0	13.5	3 (3) 石炭	2,181,635	75.4	6.9
4 (6) その他の石油	391,095	225.3	10.0	4 (4) 揮発油	1,068,660	70.4	3.4
5 (5) 完成自動車	362,870	114.4	9.3	5 (5) LPG	922,890	106.4	2.9
国名	貨物量	対前年比	構成比	国名	貨物量	対前年比	構成比
1 (1) 韓国	747,889	101.6	19.1	1 (1) アラブ首長国	8,097,555	98.0	25.8
2 (2) 中国	677,728	119.1	17.3	2 (3) オーストラリア	5,766,882	108.8	18.4
3 (3) 台湾	364,884	75.6	9.3	3 (2) サウジアラビア	4,309,186	75.1	13.7
4 (5) インドネシア	235,306	124.0	6.0	4 (5) マレーシア	3,151,595	100.2	10.0
5 (4) ベルギー	224,596	108.4	5.7	5 (7) ロシア	2,019,447	137.1	6.4

注：上位5位までを抜粋。順位の（ ）内は、2021年の順位。

## (3) 移出貨物

移出貨物は、1,491万トン（同98.5%）と前年を下回った。

品種別では、上位主要品種のうち、その他の石油（同107.5%）、完成自動車（同102.9%）は前年を上回り、重油（同93.7%）、石炭（同78.1%）は前年を下回った。揮発油（同100.0%）は横ばいとなった。

## (4) 移入貨物

移入貨物は、523万トン（同101.9%）と前年を上回った。

品種別では、上位主要品種のうち、揮発油（同101.6%）、重油（同128.6%）は前年を上回り、化学薬品（同85.9%）、完成自動車（同90.5%）、LPG（同90.6%）は前年を下回った。

表4 内貿貨物品種別表

(単位：トン・%)

移出品種	貨物量	対前年比	構成比	移入品種	貨物量	対前年比	構成比
総計	14,912,407	98.5	100.0	総計	5,233,453	101.9	100.0
1 (1) その他の石油	3,966,483	107.5	26.6	1 (1) 揮発油	1,253,859	101.6	24.0
2 (2) 重油	2,861,377	93.7	19.2	2 (3) 重油	1,223,960	128.6	23.4
3 (3) 揮発油	2,402,053	100.0	16.1	3 (2) 化学薬品	1,058,582	85.9	20.2
4 (5) 完成自動車	1,385,130	102.9	9.3	4 (4) 完成自動車	390,450	90.5	7.5
5 (4) 石炭	1,193,030	78.1	8.0	5 (6) LPG	253,206	90.6	4.8

注：上位5位までを抜粋。順位の（ ）内は、2021年の順位。

### 3. コンテナ貨物

外貿コンテナ貨物は、輸出入全体としては326万トン（同97.9%）と前年を下回った。

輸出は、179万トン（同101.4%）と前年を上回り、上位品種では、自動車部品（同115.9%）、ゴム製品（同137.5%）、産業機械（同119.3%）は前年を上回ったが、合成樹脂等（同89.5%）、化学薬品（同84.6%）は前年を下回った。なお、上位3品種でコンテナ貨物総輸出量の75.1%を占めている。

主要国では、インドネシア（同125.4%）、台湾（同116.0%）、タイ（同106.1%）、アメリカ（同259.9%）は前年を上回ったが、中国（同79.8%）は前年を下回った。

※「合成樹脂等」は「染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品」のこと。以下も同様。

輸入は147万トン（同93.9%）と前年を下回り、上位品種では、木製品（同120.2%）、樹脂類（同104.0%）、化学薬品（同110.9%）、は前年を上回ったが、合成樹脂等（同93.1%）、その他日用品（同66.5%）は前年を下回った。なお、上位5品種でもコンテナ貨物総輸入量の53.7%を占めるにとどまり、輸入は輸出より多様な品種が扱われている。

主要国では、インドネシア（同113.1%）、フィリピン（同115.3%）、韓国（同106.2%）は前年を上回ったが、中国（同69.4%）、タイ（同89.0%）は前年を下回った。

表5 外貿コンテナ貨物品種・国別表

（単位：トン・%）

輸出品種	貨物量	対前年比	構成比	輸入品種	貨物量	対前年比	構成比
総計	1,792,567	101.4	100.0	総計	1,468,214	93.9	100.0
1 (1) 自動車部品	643,668	115.9	35.9	1 (2) 木製品	205,014	120.2	14.0
2 (2) 合成樹脂等	361,857	89.5	20.2	2 (1) 合成樹脂等	192,525	93.1	13.1
3 (3) 化学薬品	340,697	84.6	19.0	3 (3) 樹脂類	149,184	104.0	10.2
4 (4) ゴム製品	212,147	137.5	11.8	4 (5) 化学薬品	147,848	110.9	10.1
5 (6) 産業機械	86,718	119.3	4.8	5 (4) その他日用品	94,443	66.5	6.4
国名	貨物量	対前年比	構成比	国名	貨物量	対前年比	構成比
1 (2) インドネシア	230,806	125.4	12.9	1 (1) 中国	291,840	69.4	19.9
2 (4) 台湾	190,563	116.0	10.6	2 (2) インドネシア	253,709	113.1	17.3
3 (1) 中国	182,201	79.8	10.2	3 (4) フィリピン	185,677	115.3	12.6
4 (3) タイ	181,643	106.1	10.1	4 (3) タイ	173,234	89.0	11.8
5 (10) アメリカ	151,148	259.9	8.4	5 (6) 韓国	129,350	106.2	8.8

注：上位5位までを抜粋。順位の（ ）内は、2021年の順位。

内貿コンテナ貨物は、19万トン（同102.0%）と前年を上回った。

表6 内貿コンテナ貨物品種別表

（単位：トン）

移出品種	貨物量	移入品種	貨物量
総計	3,437	総計	187,852
1 自動車部品	3,192	1 合成樹脂等	100,399
2 合成樹脂等	197	2 自動車部品	83,525
3 輸送用容器	48	3 紙・パルプ	2,200
その他	0	その他	1,728

#### 4. コンテナ個数

外貿及び内貿コンテナ個数の合計は 221,689TEU (同 97.3%) となった。

表7 外貿及び内貿コンテナ個数表

(単位：TEU・%)

		2022年 年 計	対前年比	2021年 年 計	
総 計		221,689	97.3	227,871	
輸移出		108,611	98.7	110,083	
輸移入		113,078	96.0	117,788	
外貿 コンテナ 個数	合 計	173,037	96.0	180,183	
	輸出	96,170	96.9	99,216	
	輸入	76,867	94.9	80,967	
	実入	計	153,699	97.8	157,232
		輸出	80,539	99.7	80,753
		輸入	73,160	95.7	76,479
	空	計	19,338	84.3	22,951
		輸出	15,631	84.7	18,463
輸入		3,707	82.6	4,488	
内貿 コンテナ 個数	合 計	48,652	102.0	47,688	
	移出	12,441	114.5	10,867	
	移入	36,211	98.3	36,821	
	実入	計	9,865	94.1	10,489
		移出	192	84.6	227
		移入	9,673	94.3	10,262
	空	計	38,787	104.3	37,199
		移出	12,249	115.1	10,640
移入		26,538	99.9	26,559	

(1) 外貿コンテナ

外貿コンテナ個数は、173,037TEU（同 96.0%）と、前年を下回った。

実入りコンテナ及び空コンテナは輸出入ともに前年を下回った。

表 8 外貿コンテナ貨物品種・国別個数表（実・空）

（単位：TEU・%）

輸出品種	個数	対前年比	構成比	輸入品種	個数	対前年比	構成比
総計	96,170	96.9	100.0	総計	76,867	94.9	100.0
1 (1) 自動車部品	27,017	115.6	28.1	1 (1) 木製品	14,134	122.4	18.4
2 (3) 合成樹脂等	17,141	89.5	17.8	2 (3) 合成樹脂等	9,283	92.4	12.1
3 (2) 化学薬品	16,954	84.6	17.6	3 (5) 化学薬品	7,357	110.9	9.6
4 (4) ゴム製品	7,718	137.2	8.0	4 (4) 樹脂類	6,977	103.9	9.1
5 (5) 産業機械	4,890	119.2	5.1	5 (2) 金属製品	4,383	93.2	5.7
国名	個数	対前年比	構成比	国名	個数	対前年比	構成比
1 (1) 中国	14,633	77.6	15.2	1 (1) 中国	13,363	69.9	17.4
2 (5) インドネシア	10,196	123.7	10.6	2 (2) インドネシア	12,604	114.7	16.4
3 (3) 台湾	10,128	101.6	10.5	3 (3) フィリピン	12,566	116.4	16.3
4 (4) タイ	9,490	112.0	9.9	4 (4) タイ	7,973	89.9	10.4
5 (2) 韓国	9,228	85.8	9.6	5 (5) 韓国	7,435	118.4	9.7

注：上位5位までを抜粋。順位の（ ）内は、2021年の順位。

(2) 内貿コンテナ

国内の2地点間を輸送されるコンテナ（内貿コンテナ）個数は48,652TEU（同 102.0%）と前年を上回った。

【参考】国内他港中継分（海上及び陸上フィーダー）

海上輸送（内航船）により国内他港を経由して輸出入される海上フィーダーコンテナは、前年から全減となった。

陸送（主にトラック）により国内他港を経由して輸出入される陸上フィーダーコンテナは、9,631TEU（同 121.8%）と前年を上回った。

【参考】海上及び陸上フィーダーコンテナ個数表

（単位：TEU・%）

		2022年 年計	対前年比	2021年 年計
海上 フィー ダー	計	0	全減	1,271
	出	0	全減	123
	入	0	全減	1,148
陸上 フィー ダー	計	9,631	121.8	7,910
	出	6,052	109.5	5,527
	入	3,579	150.2	2,383